

# NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第79号(201602)

発行 竹田 幸男



## ■松愛会寝屋川支部結成40周年記念文化展開催

1月8日(金)～11日(月・祝)の間、寝屋川市駅前、寝屋川市民ギャラリーで開催されました。約50人の会員が制作した

絵画、彫刻、陶芸、書、写真、手芸、模型などに伍して映像同好会も映像作品の展示を行いました。

写真のようにブルーレイプレイヤーとテレビのセットを2組用意し、1組は各人1作ずつ提出された作品を順次映写し、1組はパネルの作品リストを見た鑑賞者の

リクエストに応じた作品を再生してヘッドホンで聴いて頂く、と言う形で鑑賞して頂きました。

## 例会の窓

### 平成28年1月例会

日 時：平成28年1月13日（水）

13：30～16：45

場 所：産業振興センター5F 会議室（大）

出席者：新井 小笠原 佐伯 竹田 谷

欠席者2名 （50音順・敬称略）

例会に先立って恒例により12：00より新年食事会を寝屋川市駅前がんで開催、その後例会会場へ移動しました。

### 例会次第

#### 1. 報告・連絡事項

(1) 会報 天野さん

(2) 黒田氏 お水取り記録映像完成発表上映会の件

- ・メイキングビデオと映写会案内状を配布、滅多に見られない映像、2 / 15大和郡山市で映写会が行われる。関心のある人は参加されるよう呼びかけた。

#### 2. 協議事項

(1) 第10回 寝屋川映像フェスティバル出品作品の検討

- ・今日、完成していない人は1月22日までにブルーレイディスクにして提出して頂き映像寝屋川の例会で映写する。作品は10分以内

(2) 松愛会寝屋川支部40周年記念行事、同好会展示内容の討議（28年1月30日（土））

- ・パネル2枚の内容概略決定。活動PR映像は編集中（今日途中段階のものを見て頂く）

(3) 作品展の結果と反省

- ・初めての試みなので始まってからの改善・追加が多かった。
- ・このような行事を行うには想像力が必要。

#### 3. 映写・研究発表

(1) 新井さん 田んぼアート 10分

- ・同一映像で本人のナレーションと関西風人工音声のナレーションの2作  
本人の声は録音システムが悪いためか周波数範囲が狭く聞き取りにくい。  
また人工音声の方は関西風でなく標準語のナレーションがいいと言う声。

(2) 小笠原さん

- ・かぶと山のDVDを頂いたことへの園からお礼のDVDが届いた。
- ・おうみ子供園平成27年度5歳児たちの映像

園歌 あわてんぼうのサンタクロース、等 編集はうまく作られている。

(3) 黒田敏彦氏 お水取りメイキングビデオの映写

・一般の人が入れないところまで行って撮影した映像。

(4) 映像同好会活動PRビデオ 竹田さん 3分

・途中段階で未完成だが参考に見て頂く。

4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等

・佐伯さんがうまく編集できないノートパソコンを持参されたので、エラーチェックや最適化を行ったところ動作が安定化したので映像編集出来そうになった。次回を楽しみにしています。

5. 来月の定例会 2 / 1 0 (水) 1 3 : 3 0



## PCと兄弟との一泊旅行

天野 忠一

私は6人兄弟の末っ子です。となるとずいぶん高齢者の兄弟だと想像されますが、まったくその通りで長兄夫婦はすでに他界していますが、次兄は89歳になり、姉、三男、四男と続きそして私となります。私と直ぐ上(四男)とは12歳も離れており、この年齢になっても全員からいまだに子ども扱いされている兄弟関係です。

少し兄弟の自慢話になりますが、全員が元気であるということは勿論ですが、PCを全員が使えるということでもあります。今から12年前、年齢的にも、全く持つ必要性を感じていない兄姉達に無理とは思いつつ現物を前に、操作でもってPCの凄さを確認してもらいPCとプリンターの購入を勧め、『年はとっても情報入手の必需品、ボケ防止にも役立つ』という説得が功を奏したのか結果として手にしてくれることになりました。(なかなか決断までには時間がかかりました)

購入当初は、PCメーカーでのサポートは通用せず、しばらくは、前に進まない状態が続き、何度も実家に集まったのPC教室でしたが、さすが兄全員が工業系出身者のせいか理解は早く一年で使えるようになり、姉も娘から教わって今日にいたってはPCを有効活用している高齢者のグループではないかと思っています。(HP検索・Eメール・文章作成・表計算の一部)

私たち兄弟は、姫路(兄姉在住)と大阪に住んでいますが、近距離であるにも係わらず疎遠続きだったものがPC操作が出来ることになったという縁で、より身近な関係に発展し兄弟との新しい関係が生れてきました。

ある時、次兄から『元気なうちに兄弟夫婦で、近場でいいから一泊旅行でもして親睦を深めたいと思うが、一度企画してくれないか?』と、いうメールが入って来たのが2007年の12月の事でした。

両親・長兄夫婦はもういない。残る兄弟夫婦もいつどうなってもおかしくない年齢にも近づいている。『そうだ、全員が元気で過ごすには、今まで以上に兄弟との関係を密にするという事も必要ではないだろうか』と思い、早速第1回目の一泊旅行を実施したのが翌年2008年3月でした。

それ以降、毎年実施し計8回続いています。全員がPCが使えるというメリットがこの一泊旅行の企画・推進・情報交換に大きく役立ち、今日まで続いている要因の一つではないかとも思っています。もしこの情報交換手段が無かった場合、手間暇かかる作業を当方が一手に引き受けなければならず、途中挫折でこんなに長く続かなかったかも知れません。

参加者は兄夫婦と姉(長女と参加)の計10名ですが、行先としては近場ばかりで大した場所へは行ってはおりませんが、『有意義な会』と位置づけられています。楽しい思い出づくりと、兄弟夫婦の強い絆づくり、健康でいつまでも元気に頑張ろうという意思確認のできる場でもある一泊旅行となっています。

#### 一泊旅行行先

	実施日		宿泊先	観光
第1回	2008年		3/22-23	神戸しあわせ村
第2回	2009年	4/08-09	国民宿舎 赤とんぼ荘	龍野公園・龍野城他
第3回	2010年	4/08-09	国民宿舎 サンロード吉備路	マイクロバスにて花巡り
第4回	2011年	4/11-12	かんぼの宿 赤穂	赤穂城他
第5回	2012年	4/11-12	鷲羽山ハイランドホテル	瀬戸大橋遊覧と後楽園
第6回	2013年	4/25-26	パナソニックリゾート大阪	都をどり大川周遊
第7回	2014年	4/24-25	洲本温泉 海月館	神戸花鳥園
第8回	2015年	5/19-20	パナソニックリゾート琵琶湖	ミシガンクルーズ

第 1 回



第 2 回



第 3 回



第 4 回



第5回



第6回



第7回



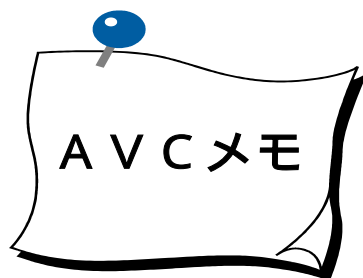
第8回



全員で酒を酌み交わしながらの夕食、その後一室に会して遅くまでの二次会。友人同士、また組織での旅行等ではよく見かける光景ですが、兄弟夫婦では案外少ないかも知れません。

翌日は観光と買い物という何の特徴もないパターンの旅行でありながら、年に1度のこの集まりが、“みんなが楽しめ、元気をもらい、健康な毎日が暮らせる”ということであれば今後も続けなければなりません。今年もその恒例の一泊旅行が近づいてきました。少し遅い企画のスタートになりますが、PCで情報交換をしながらよりいい場所選びに、いよいよ私の出番がやって来ました。旅行当日の笑顔を見る楽しさと、みんなが元気になってくれる一助になるなら頑張ろう。

※少し目の調子が良くなく心配な面もあるのですが。



## 支部結成40周年記念 同好会展示の舞台裏

竹田 幸男

1月30日(土)、パナソニック松愛会 寝屋川支部は設立40周年の記念新春懇親会を行いました。映像同好会では同好会展示に関わり、このための準備は昨秋から進めていましたが、内容は大きく分けて、一つは写真を主体としたパネル、もう一つはテレビ画面を使って動画・静止画を使ったPRビデオを映写することを計画しました。

準備は1月上旬に行われた文化展の準備期間とも重なり、いずれも色々思案しているうちに期限は迫り、結局は文化展終了後2週間ぐらいの追い込みで作り上げることになりました。

パネルは、余り細かいことを書いても、見る人にじっくり読んでもらう時間はないと考え、新年食事会や忘年会、撮影会など楽しそうな場、そして編集・パソコン・ナレーションなどに関する講習会など実力向上につなげられる場、また作品発表会、映像フェスティバル、大阪アマチュア映像祭などの発表の場もあることをPR

しようと考えました。写真は出来るだけ大きくし、見やすくしようと考え、その枚数も限られてきます。

PRビデオの方も同じような趣旨で静止画を中心に、所により動画を挿入して変化を付けました。新春食事会に始まって、撮影会、講習会など、それぞれまとまった項目のつなぎには大きなモーションのトランジションを入れ、1つの項目内の画面間はカットつなぎなどとして差を付けました。ナレーションはパソコン音声を使い聞きやすくするため話速はゆっくり、しかし映像の切り替えのテンポは早目にして、だれるのを防ぎました。映写時間は3分で、BD作成時に再生時の動きとして「終了後、初めから再生」を選択して何度でもエンドレスに再生できるように設定しました。

結果、当日パネルを見た感じでは、他の同好会では小さな写真を数多く出されたり、活動の細かい経過を詳細に説明されたりしているところもありましたが、見る時間が限られる展示の場では、映像同好会の展示の与える印象は強かったと自負しています。他の同好会も映像で展示されたところがあり、最初相互の音声の干渉で聞こえにくいのではないかと思いましたが、他の発表の音より会場の観覧者の話し声のほうが騒がしく、ナレーションが聞き取りにくい原因になっている様に思われ、このような場では、もっと文字（長い文章ではなく、短い文章）を多く使って説明した方が良いと感じました。